

岡山県、和歌山県の家きん飼養農場・施設で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認！ (家きん国内7・8例目)

【概要】

- ・7例目:岡山県倉敷市 採卵鶏 約3.4万羽
 - ・8例目:和歌山県白浜町 あひる等 約60羽
- 簡易検査および遺伝子検査で陽性。

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

<今年は例年以上の発生が懸念されます>

- ※世界中で高病原性鳥インフルエンザの流行が続いています。
- ※今シーズンは例年よりも早く野鳥の死骸・糞等からウイルスが検出されています。
- ※全国いずれの地域においても発生リスクがあります。
- ※小規模農場も例外ではありません！

※今シーズンは、本年9月以降、野鳥等から高病原性鳥インフルエンザウイルスが度々確認されており、全国的に環境中のウイルス濃度が非常に高まっていると考えられることから、野鳥等を介したウイルスの侵入に引き続き警戒が必要です。

◇早期発見・早期通報

◇家きん飼養農場の防鳥ネットの再確認、家きん舎の穴等の再点検

◇ウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した

農場内及び家きん舎内への侵入防止対策の徹底

◇農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底

◇農場内における手指や長靴の消毒

◇農場周辺の消毒等の防疫措置を徹底

◇適切に消毒効果を得られるよう毎日また汚れた都度消毒薬の交換、

消毒前の長靴の洗浄等を実施

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018